



国際大会 @ ケープタウン 南アフリカ共和国 報告会

日時 **2009年1月17日(土)**
17:45 ~ 20:00 頃まで

場所 **文京区民センター**
3C会議室にて 参加費 無料
(文京シビックホール近くの春日町交差点に面しています)

主催・問い合わせ先 すぺーすアライズ
allies@crux.ocn.ne.jp



11月の中旬、南アフリカのケープタウンで、AWID (Association for Women's Rights in Development、開発における女性の権利を実現するための連合) の国際大会が開催され、すぺーすアライズから麻鳥と鈴木が参加しました。世界中から女性活動者2千人が参加し、家父長制に立ち向かい、それぞれの現場で起きている女性の課題を解決しようという運動が経験を分かち合う、とても活気がある集まりでした。そのタイトルも「The POWER of Movement」でした。この感動と会議内容を写真を交えて、日本で活動する仲間と分かち合いたいと思って集会を企画しました。

また、AWIDには多くの女性活動体が参加し、大会に並行して世界中のさまざまなネットワークの会員が

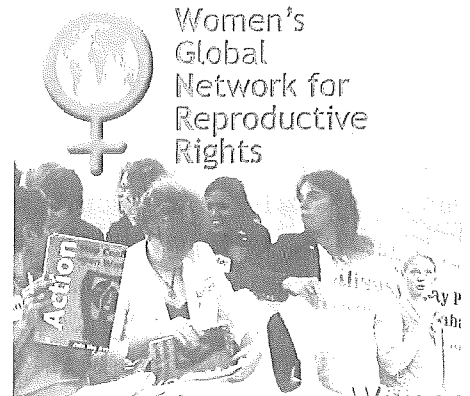
集まりを持ちました。すぺーすアライズが加盟している、世界中で女性のリプロダクティブ・ライツを実現するためのネットワークである Women's Global Network for Reproductive Rights (WGNRR) のメンバー会議にも参加してきました。その報告と、日本の活動とのつながりについても報告したいと思っています。

<http://www12.ocn.ne.jp/~allies/space/newpage34.html>

AWIDでは女性運動のさまざまな課題が議題になり、海外援助のあり方、女性に対する暴力、女性障害者の権利、宗教・原理主義と女性差別、リプロダクティブ・ライツ、レズビアンへの差別、セックスワーカー運動との連帯の可能性、女性組織の世代交代など、さまざまでしたが、私

たちが参加した分科会を中心に報告します。

また、WGNRRでは、アフリカでの女性に対する暴力、安全な人工妊娠中絶など多くのリプロダクティブ・ライツの課題が議論されました。安全な中絶に焦点を当て、メキシコシティでどのようにして中絶を合法化してきたのか、ヨーロッパとアフリカそれぞれの中絶薬普及のアドボカシーなども紹介します。



Women's
Global
Network for
Reproductive
Rights